

第1890回埼玉県教育委員会定例会

- 1 日 時 令和2年9月10日(木) 午前10時開会
午前10時57分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 高田教育長、上條教育長職務代理者、後藤委員、伊倉委員、遠藤委員、
石川委員、萩原副教育長、佐藤教育総務部長、日吉県立学校部長、関口
市町村支援部長、小出高校教育指導課長、八田義務教育指導課長、島村
財務課長、佐藤高校教育指導課主幹、片桐市町村支援部参事兼小中学校
人事課長
栗原書記長、古澤書記、森山書記
- 4 会議の主宰者 高田教育長
- 5 会 議
- (1) 前回議事録の承認
- 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
 - 高田教育長が、石川委員を議事録の署名者に指名した。
- (2) 議事
- 第70号議案 令和3年度埼玉県立高等学校において使用する教科用図書の採択
について 上程
- 小出高校教育指導課長 (提案理由及び採択案について説明)
- 高田教育長 この審議については、前回の委員会で協議を行いました。その協議
を振り返りたいと思います。前回は事務局からの説明を受けまして、事務局説
明への質疑を行っていただいた後、教科用図書の調査研究に取り組んでの御感
想、学校訪問や校長との意見交換を行っていただいたの御感想・御意見、採択
案のまとめ方などについて、協議を行っていただきました。その中で、県立高
校につきましては、生徒の実態が多様であり、学校のニーズや実情が多岐にわ

たっていること、そうした中で、各学校では、校長を中心として組織的に教科書選定がしっかり行われていること、選定理由書や選定概要報告書に問題が見られなかったことなどが確認できました。これらを踏まえて、学校の選定結果を基に採択案をまとめることの合意がなされまして、お手元の資料のと通りの教科用図書を採択案とすることとしたところです。前回の協議の経過をかいつまんで御説明しました。改めて御意見等がございましたらお願いいたします。

(意見なし)

- 全出席委員異議なく本案原案どおり可決

(3) 報告事項

「良い授業を見つけ！広めて！学力UP事業」映像資料について

八田義務教育指導課長 (提出理由、目的、事業概要、映像資料及び今後の展開について説明)

上條教育長職務代理者 今お話がありましたとおり、コロナ禍の状況で、授業時間の制約が大きな課題になっていて、授業そのものの質の向上が求められています。今回の取組は、県学力・学習状況調査の大きな成果物と捉えることができると思います。教師の授業の質を客観的に選択できる、この先生は学力を伸ばしている先生だということが見えて、そういう先生を選んでいきます。さらに、その授業内容をきめ細かく深掘りして行いました。そのような形で取り組んでいることは、本当に有効な試みではないかと思えます。素晴らしい試みだと思えます。お願いしたいことは、先ほどの映像にもありましたタブレットやそのコンテンツなどの教材について、ほかの先生方も容易に使えるように、共有できる仕組み、アクセスしやすい仕組みをきちんと作った方がいいと思えます。もう一つは、先ほどのお話のとおり先生方は、既に、自己啓発・指導能力の向上にこの映像を使っていると思えます。そうすると、各先生方も感じる所があると思えます。次の映像を作るときには、そのフィードバックをうまく生かしてほしいと思えます。一方的に県が作るのではなくて、現場の各先生方からフィードバックをしてもらい、吹き出しの形で説明書きがありましたが、それが読み

やすいのか読みにくいのかといったかなり細かい所を含めて、現場のフィードバックを生かしていく。そうすることによって、更にクオリティの高い映像が作れるのではないかと思います。先生方にとって非常に意味のあるものが出来上がっていくと思います。これが科目・教科ごとにできてくると、全体のレベルアップにすごくつながると思います。素晴らしい試みだと思いますので、今後も進めていただきたいと思います。

八田義務教育指導課長 1点目のICTのコンテンツ等を先生方が容易に活用できるようにすることについてですが、先日の議会でも報告したことですが、ICTのガイドラインの作成を進めているところです。県内のいろいろな教員がICTの活用に取り組んでいて、その中の好事例を活用して、ほかの教員のノウハウを知って、自分たちも試してみようと思えるような下地を作っていきたいと思っています。もう1点の実際に使った教員の方々のフィードバックについてですが、どういった方法でできるのか検討させていただきたいと思っています。

上條教育長職務代理者 先生方の授業準備は、先生一人一人がそれぞれ行っているところがあって、働き方改革を進めていく上で大きなネックになっていました。これをベースにして、教材を共有化することによって、そういった面でも効率化につながっていくのではないかと思います。

遠藤委員 今回のコロナ禍でオンラインの授業をやってみて、オンラインは意外と手が掛かることが分かりました。先生個人が作ろうとすると、とても大変な事になると思います。是非、お話があったガイドラインのようなものをきちんと整えてほしいと思います。そうでないと、使えない若しくは使わないのいずれかになる可能性があります。目的である主体的・対話的で深い学びに、タブレット等をいろいろ使っていけば、中身が洗練されていくのだらうと思います。例えば、どんな図形かという問いに、図形を描くことが苦手な自信がない子供でも、タブレットがあれば描けて、描いた図形を先生が面白い図形として取り上げるといったこともあると思います。逐一、図形の定義に触れていかなければならないと時間が掛かります。タブレットなどのICTの効果的な活用について、研修会等でどう取り上げていくかということだと思います。映像資料の

授業は、とても面白い授業でした。これであれば、学力のレベルが上がると思っています。

八田義務教育指導課長 オンラインの授業につきましては、G I G A スクール構想が昨年公表されてから、加速度的にどんどん進んでいます。教員の資質・能力もそれに応じて、高めていかなければいけないと私どもも考えているところです。先ほど申しあげましたガイドラインについては、現時点では好事例を集めているところですが、これから必要になっていくことは、初歩的なことも含めて教職員が取り組みやすいようなものを作っていくことだと思っています。県内の教職員が広く取り組めるような仕組みを作っていきたいと考えております。

伊倉委員 とてもいいなと思いました。特に、良い授業というのは、生徒と先生の信頼関係がベースにあってこそだと考えています。先ほどの映像からも、先生の熱意が伝わってきました。新しく先生になった方が、周りに自分のモデルとなるような先生がいなくても、ネットを通じて目指す教師像が見えてくるのではないかと感じました。県学力・学習状況調査が、このような成果物になって素晴らしいと感じました。伺いたい事は、この映像資料の周知・活用の促進についてです。県立総合教育センターのホームページの教職員専用サイトから各自で見ることができるということですが、教職員専用サイトからということは、一般の方は見ることはできないのでしょうか。と言いますのは、大学で教員養成に携わる身として、大学3年生・4年生が教育実習に出る前に、この映像資料を見ておくと、意識が変わるのではないかと思います。大学の教員は比較的年齢が高いので、特に、若手のはつらつ先生のような熱意を持った先生の授業や現場でのクラスの様子をお手本として見ると、実習に出ていく心構えが変わってくるのではないかと思います。

八田義務教育指導課長 4ページの資料の記載のとおり、教職員専用サイトからログインするためのIDやパスワードを入力する必要がありますので、ユーザーは県内の教職員を前提としています。もう少し幅広い方々にも見られるように検討しましたが、今回の映像資料には生徒の表情にモザイクが掛かっている

ますが、実際の資料にはモザイクは掛かっていませんので、一般の方に見ていただくことは難しいと考えています。一方で、御指摘のとおり若い教員に使用してほしいということは、教員の年齢構成が急激に変動している中で、我々も問題意識を持っているところです。コロナ禍で、なかなか集まって研修ができない新人の教員が、この映像資料を見て、こういうことを自分も子供たちにやってみようと自己研さんに努めております。このことは、報道にも取り上げてもらえました。若手の教員には、特に活用を促していきたいと思います。

後藤委員　すごく良い取組だと思います。ICTの活用として、タブレットを使ったり、プロジェクターを使ったり、授業をどのように展開していったらいいか悩んでいる先生にとっては、後押しになる良い取組だと思います。先ほどの映像の先生は、はつらつとしてとても良かったですが、これがベストウェイということではないと思います。先生によってやり方は変えていいと思います。若い先生のほかにベテランの先生の授業など、様々なパターンを作った方がいいと思います。これがベストウェイということではなくて、れんたつ先生のような年配の先生がどういった授業展開をしていくのか違うパターンを作る、特に、朝の会とか帰りの会とかの学級活動の様々なパターンがあると、より有意義だと思います。非常に良い取組だと思います。

八田義務教育指導課長　先生方によってやり方を変えることについての御指摘ですが、映像資料の対象教員は、年齢・性別が様々です。20代の若手の教員もいれば、30年以上の経験のある50代の教員もいます。また、特定の単元を参考にするというよりは、例えば机間指導など、どの授業にも共通する指導方法を取り入れてもらいたいと考えています。

石川委員　この映像資料は、一般的な授業の進行の仕方を示したもので、特定の単元の授業の仕方を示したものではないと理解しています。数学の映像資料は5本ということですが、数学では、いろいろな定理等の単元があります。例えば、この単元についての教え方には自信があるけど、この単元の教え方には課題があると思っている先生もいるのではないかと思います。そのように、単元ごとに映像資料を作る予定はあるのでしょうか。

八田義務教育指導課長 単元ごとに一つ一つ作ることで、時間等が掛かってしまいます。また、御覧いただいた映像のとおり、カメラマン等のスタッフが授業現場に行き撮影していますので、撮影を継続すると、子供にとって影響があると思います。そのため、ポイントを絞って日常の授業を撮らせていただいております。全ての単元あるいは全ての教科の映像資料を作ることは難しいと考えています。その代わりに、専門家の解説を付けて、その他の単元でも使えるような汎用的なものにしています。その中で、先生方がどの単元でも共通的に使えるものを取り入れてもらいたいと考えています。

(4) 次回委員会の開催予定について

9月23日（水）午前10時

<非公開会議結果>

第67号議案 県議会令和2年9月定例会提出予定案件について

県議会令和2年9月定例会提出予定案件の原案を決定しました。

第68号議案 県議会令和2年9月定例会提出予定案件について

県議会令和2年9月定例会提出予定案件の原案を決定しました。

第69号議案 県議会令和2年9月定例会提出予定案件について

県議会令和2年9月定例会提出予定案件の原案を決定しました。

第71号議案 教職員の懲戒処分について

非違行為を行った川口市立安行中学校の男性教諭（40歳）に対して、免職する懲戒処分等を決定しました。

第72号議案 退職手当支給制限処分について

元公立学校男性教諭に対し、一般の退職手当等の額の全部を支給しないこととする処分を決定しました。